



平成30年度 学校だより

第11号

篠津原野に雲晴れて

【教育目標】

先人の熱いところを受け継いでふるさとに生きる力を育む
 真理を探究する人
 友情を大切にする人
 創造し実践する人
 健康で明朗な人

今こそ本気の防災・減災の取り組みを

4日未明から5日にかけての台風21号と、6日夜中3時ごろ発生した北海道胆振東部地震。私たちは、連続して二つの災害にみまわれましました。長時間の停電や、地域によっては断水、避難所生活などを強いられ、不安で不便な時を過ごしました。本校は、校舎内外の安全確認をしたのち、10日から学校を再開し、平常を取り戻しつつあります。ただ、節電の取り組みは10日以来継続しているところです。

学校再開の初日、一時間目に全校集会を行い、校長先生から「災害時に身を守る行動と、周りの人を助ける行動の必要性や、いざというときには戸惑うことなく行動してほしい」とのお話をしました。その後、教頭からは、①今週いっぱいには最大限の警戒をすること。②もしもの時は身を守る行動をとること。③今回

のようなことが起きた場合は、確かな情報は共有し合うこと。④人の気持ちに配慮した言動に心がけること。以上の4点についてお話をしました。

今、学校では、今回の二つの災害をうけての「検証」を始めています。情報伝達・周知の手段や校舎内外の環境、必要物品など、特に冬季間の災害に備えることの重要性を認識しているところです。「家庭でも、今回の経験を機に、防災や減災についての話をされていることと思



ます。

9月1日の「防災の日」をうけ、本校では8月31日に「北海道シエイクアウト訓練」(写真左上)を実施しました。もし地震が発生したら、「ドリップ」姿勢を低くする「カバード」頭や実を保護する「ホールド・オン」揺れが完全に収まるまで姿勢を持続する」の三つの行動を実践する取組をしました。日頃のこのような訓練が、いざというときの躊躇ない行動につながります。今後、定期的に様々な想定や工夫をしながら、防災・減災教育にさらに力を入れていきます。

学校再開日初日から、本村では給食が提供されました。また、次の日からは牛乳も提供されました。色々な方々のご努力があったということと思います。ありがとうございました。

校舎の「安全点検」

毎月「安全点検日」を設けて、校舎内の設備や備品等の点検を行っています。今回(9/12)は、教職員全員で校舎内を一緒に歩き、教室ごとに丁寧に点検しました。高所においてあるもの、揺れたら移動しそうなもの、揺れに弱く倒れそうなもの等を複数の目でチェックしました。いろいろな危険性を想定しながら、今後、すみやかに改善していきます。



これが作品です。松ぼっくりなどを上手に組み合わせてありました。



当別・新篠津創意工夫展
佐藤玲奈さん(金賞)受賞!
 本校内の夏休み作品展で紹介した3年生佐藤さんの作品「木の家」が、当別・新篠津創意工夫展自由創作部門で、見事金賞を受賞しました。身の回りにあるものを、家のパーツに流用した作品で完成度が高く、本校でも高評価でした。

学校祭活動がはじまりました！

■学校祭突入集会

9月13日4時間目に、生徒会による「学校祭突入集会」が行われました。まず初めに、生徒会の皆さんが制作したイメージビデオを視聴しました。そこには、昨年の雄姿や、今年のテーマが映しだされています。その後、各学年代表委員による決意表明が力強くされました。集会の最後は、林生徒会長からの熱い思いのこもったあいさつで締めくくられました。

■学校祭活動の様子

本格的に学校祭の準備活動がはじまりました。各学年とも、合唱の

練習に熱が入っています。また、演劇や絵画の打ち合わせなども真剣です。見事に、学校祭モードに突入しました。作品の完成や、合唱の仕上げりが今から楽しみですね。

■バザーのお手伝いよろしくお願ひします

学校祭の当日、生徒たちが楽しみにしているのがバザーです。普段の給食とはまた違った良さがありません。13日の学年委員会で、バザーの打ち合わせをしていただいたところ。当日も、販売（食券と物品の引き換え、物品管理など）のお手伝いをよろしくお願ひいたします。



教育実習生が来ています

【自己紹介文】

9月11日よりお世話になっている教育実習生の安藤葉生（はぐむ）です。立命館大学生命科学部の4回生で、普段は微生物学や植物生理学に関する研究をしています。それと並行して中学理科の教員免許を取得するための勉強もしています。新中は7年前に卒業しました。7年前と同じように明るい生徒と、熱い先生たちがいる環境の中で、たくさんの学びがある3週間になりたいと考えています。精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。



真剣な議論の場を学ぶ

3年生が村議会傍聴

社会科（公民）の授業の一環として、14日10時からの新篠津村議会の傍聴を体験しました。一般質問の中には、中学生が興味を持てる内容のものもあり、議論にぐいぐい引き込まれていました。持参したワークシートに熱心にメモをしたり、自分

の考えをまとめたりする姿があり、大変有意義な時間であったことがうかがえます。また、中学生の視線で、自分が住む村を見つめなおす機会にもなったようです。「自動車のスピードの問題」「人口減少に歯止めをかける方法」など、自分が議員だったらこんなことを考えてみたい、ということが、ワークシートに書き込まれていました。



今回の貴重な体験のためにご尽力いただいた村議会の皆様、議会事務局の皆様、役場の皆様に感謝申し上げます。

第1 第3日曜日は

ノーゲームデー

これまでも何度かお知らせしていますが、電子メディアとの過度な接触時間を見直すなど、子どものネット利用を含めた望ましい生活習慣の定着を目指した取り組みです。ゲーム依存やネット依存が引き起こすデメリットに目を向ける取り組みです。ご家庭でのルールづくりのきっかけにされてはいかがでしょうか。